

課題名	前立腺がん疑いで前立腺生検を受けた症例の後ろ向き研究
承認番号	2019-36 番
研究機関名	横浜市立みなと赤十字病院
研究責任者	所属 泌尿器科 氏名 村上 貴之
研究期間	(西暦) 2019 年 10 月 ~ (西暦) 2020 年 3 月
研究の意義・目的	<p>高血圧に関わるペプチドであるアンジオテンシンⅡが前立腺癌細胞の増殖効果を持ち、降圧剤であるアンジオテンシンⅡ受容体ブロッカー (ARB) が癌細胞の増殖抑制および抗腫瘍効果を持つとされています。</p> <p>前立腺特異抗原 (PSA) 高値の前立腺癌疑いで前立腺生検を受けた症例の臨床的因子 (降圧剤 (ARB) やカルシウム拮抗薬など) の内服状況やその他の臨床的因子) と生検陽性率 (または陰性率) 及びその後の経過について解析を行いその相関について検討します。</p>
研究の方法 (対象期間含む)	2015 年 12 月末までに前立腺癌の診断を受けていない 20~85 歳の男性で 2016 年 1 月~12 月までの間に PSA 高値 (5.0~19.9ng/ml) で前立腺生検を受けた患者の既往歴、家族歴、血液検査などの臨床的因子と生検陽性率について後ろ向きに検討を行います
試料・情報の利用目的及び 利用方法 (匿名加工する場合や他施設へ提供 される場合はその方法を含む)	調査票には患者氏名、イニシャル、カルテ番号、生年月日 (生年月までは調査票へ記入)、住所、電話番号、FAX 番号は調査票への記入せず匿名加工を行います。調査票にデータを入力、データセンター (有限会社メディカル・リサーチ・サポート) で集計します。データセンターで集計後に横浜市立大学附属市民総合医療センターに送付されて解析します。
利用又は提供する 試料・情報の項目	年齢 (生年月)、既往歴、家族歴、生検前血液検査 (末血生化学、PSA)、内服薬、生検結果 生検陽性時は臨床病期およびその後の治療内容
試料・情報を 利用する者の範囲	泌尿器科医師 (代表者: 村上 貴之)
試料・情報の管理における 責任者の氏名又名称 (当院及び提供先)	横浜市立大学附属市民総合医療センター泌尿器・腎移植科 上村 博司 横浜市立みなと赤十字病院 泌尿器科 村上 貴之
問い合わせ先	当研究に自分の情報を使用してほしくない場合等のお問い合わせ 〒231-8682 神奈川県横浜市中区新山下 3-12-1 横浜市立みなと赤十字病院 所属 泌尿器科 氏名 村上 貴之 TEL:045-628-6100 (代表) 内線 3808 (事務局) / FAX:045-628-6101